

# 竹内街道

takenouchi - kaido

Vo. 20

〒583-8555

大阪府立大学 地域保健学域  
総合リハビリテーション学類  
理学療法専攻内 竹羽会  
発行責任者：灰方 淑恵  
編集者：藤堂 恵美子



## 巻頭言



花の盛りもいつしか過ぎて、葉桜の緑があざやかな季節となりました。会員の皆さまにおかれましては、お健やかに過ごしのことと思います。

この度、竹羽会会長を務めさせていただくことになりました、医療技術短大7期生の灰方淑恵です。母校を卒業していつの間にか十余年が経ち、先輩の数よりも後輩の数の方が多くなってきていることに驚きをおぼせません。同期を見渡しても、それぞれのライフステージでそれぞれのカタチで理学療法と関わっている、それだけの年数が経ったのだなと改めて思います。今回で広報誌『竹内街道』もめでたく第20号をむかえました。思い返せば、1号発行の時から竹羽会に関わらせていただいていたので、20号分の歴史とともにあるわけです。羽曳野キャンパスに集合して、深夜に輪転機を回してホッチキス留めをしていた苦労も、今となっては良い思い出です。

さてこの3月、4月は診療報酬改定に当たっていたため、忙しく過ごされた方も多と思います。私の勤務先でも診療報酬改定に先だって、病院内での短時間通所リハビリテーションをスタートさせました。今まで長らく「医療」の枠組みの中で働いて来たせいか、「介護」分野を見ると、また勝手に違って新鮮さを感じます。居宅訪問でご自宅に伺うと、病院の外来リハビリテーションでは見ることのできなかつた利用者さまの表情や、ご家族との関係が見られてとても新鮮でした。同時に今後の理学療法士の職域の広がりの変化を感じるきっかけにもなりました。増え続ける理学療法士の数に対して、医療施設での求人は頭打ちになっている、と言われて久しいですが、まだまだ理学療法には大きな可能性が秘められていると思います。介護分野、予防分野、そして周産期分野まで幅広くカバーできる「眼」が私たちにはあると思います。「全人間的に人をみる眼」をたたき込まれているからこそ、どんな分野でも活躍の糸口はあると思います。

どんどん増え続ける理学療法士の中で、少しでも「質」を追及していけるような、卒業生の輪であればよいなと思っています。

今後とも竹羽会の運営にご協力よろしくお願い申し上げます。

竹羽会会長 灰方 淑恵【7期生(竹羽会7期)】  
(藤本病院)



# 第18回卒後研修会報告

## 「脳卒中について～障害(損傷)部位を考慮して～」

日 時：平成25年10月12日(土) 14:30～17:00

場 所：I-site なんば 2階

講 師：尾谷 寛隆 先生(国立循環器病研究センター)

参加者：62名



### 研修会を終えて

この度、国立循環器病研究センターの尾谷寛隆先生に「脳卒中について～障害(損傷)部位を考慮して～」というテーマで講義をしていただきました。国立循環器病研究センターは大阪府立大学の学生を臨床実習生として受け入れていただいている施設の一つで、私も学生の頃に実習生として尾谷先生にご指導していただきました。今回は実習ではなく、講義という形で先生から学ばせていただける機会であるため、どのような講義になるのか非常に楽しみでした。

講義内容は基礎的かつ必要不可欠なものでした。脳の解剖や機能局在などを始めに復習し、その後実際の患者様のMRIやCTの画像を用いて解説を行うという形式で講義は展開されました。講義内容の復習として最後に問題が用意されていました。自ら問題に取り組むことは、知識がより定着しやすい方法であると感じました。

聴講させていただいた内容のうち、私の中で最も印象に残っているのは推定血腫量の計算方法でした。理由は非常に個人的なものです。推定血腫量の計算方法は私が実習生の頃に国立循環器病研究センターで教えて頂いたことの一つであったにも関わらず、今回の講義を受講するまで忘れていたからです。この他にもこれまでに記憶したことを忘れていくことは多くあると思います。



「竹内街道」 Vol.20



理学療法士として社会に出た今、「忘れていた。」では済まされないことも起こり得ると感じる時があります。学会等に参加し、最新の知見を学ぶことも大切ではありますが、これまでに学んだことを忘れないように復習しておくことも大切であると感じました。今回の研修会は就職して約半年にあたる十月に行われました。仕事にも慣れ、新しいことを覚えることに必死だった自分にもう一度過去を振り返り、復習をする大切さを思い出させてくれました。脳卒中についての知識を学べたうえ、ただ新しい知識を得るだけでなく、復習の大切さに気付くことができた今回の講義は私にとって非常に有意義なものとなりました。

竹羽会の研修会では今後どのようなことを学ぶことができ、どのようなことに気付かされるかと考えると、第十九回、二十回、さらにはその先々までが楽しみです。これに止まらず今後開催される研修会にも参加したい、さらにはこれから卒業する後輩たちにも参加してほしいと感じました。

最後になりましたが、この度、講義をしてくださった尾谷先生、研修会を開催してくださった先輩方に心より感謝申し上げます。

久保田 良【府大5期生(竹羽会16期)】  
(関西医科大学附属枚方病院)





# 🌸 竹羽会ホームページのお知らせ 🌸

府立大2期生の岡本です。竹羽会のホームページが新しくなりました。内容も見た目もまだまだ不十分ですが、会員内外の様々な方々に竹羽会に関する有益な情報を発信出来るように、少しずつ改良していきたいと思っておりますので、ご意見やご感想などを頂ければ幸いです。特に、「こんな機能があれば是非活用したい」といったご意見を頂ければ、可能な限り対応していきたいと思えます。また、運営部員は岡本と府立大5期生の山中の2名ですが、我々は褒められて伸びるタイプですので、ホームページが役に立つことがあればお声がけいただけると大変励みになります。よろしくお願ひ致します。

URL...<http://chikuwa-kai.com/>



ホームページ部 岡本 健佑【府大2期生(竹羽会13期)】

## 会費納入のお願い

竹羽会の運営は、会員の皆様から収めて頂く会費によって支えられています。未納入の方は是非ともお収め下さい。

なお、会費は永久会費で20,000円となっております。たいへん大きい金額ではございますが、勉強会開催などの費用に割り当てる大切なお金です。よろしくお願ひいたします。

### 〈郵便振替口座〉

振替口座：00910-7-223456

加入者名：竹羽会

・研修会場で直接納入して頂くことも可能ですので、よろしくお願ひ致します。



- ・振込手数料はまことに恐縮ですがご負担をお願いいたします。
- ・必ず振込み者の氏名と期数を入れて下さい。  
例：「リガク ハコ ガク1」「リガク タウ フダ2」
- ・ATMからも振込みができます。  
(専用の用紙をお渡します)

竹羽会「永久会費」に関するお問い合わせは下記までお願ひします。

財務部：植木 晶子【学部1期生(竹羽会10期)】

(みどりヶ丘病院リハビリテーション部)

連絡先TEL：072-681-5717 (代表)

072-681-5975 (リハ直通)

E-mail：rihabiri@midorigaoka.or.jp




# 投稿大募集!




『竹内街道』では、会員の皆様からの投稿原稿を大募集しています。「こんな研修会に参加してきました」「こんな勉強会をやっています」「今度、同窓会があります」などなど、内容、文字数等問いません。会員に知らせたいことを何でも良いので広報部までお寄せください。次号は、平成26年秋頃発行予定です。投稿お待ちしております!!

広報部 藤堂 恵美子【9期生(竹羽会9期)】(巽病院)

E-mail : to\_emk@yahoo.co.jp

## 編集後記

- ・今年度ついに10年目を迎えました。当院は卒業生の入職も多く、竹羽会の話が共有できることを嬉しく思っています。会誌は節目の第20号となり、改めてその歴史を感じるとともに、沢山の会員の皆様に読んで頂いているということを実感し、身の引き締まる思いです。今後ともよろしくお願い致します。(藤堂)
- ・4月に入って当院も3人の新入職を迎え、メンバーが少しずつ入れ替わる中で、私もまた新たな気持ちで頑張らないと～!と思う今日この頃です。さて、今回は竹羽会員でもある、後輩の上田PTに会誌の編集作業を付き合ってくださいました。パソコン作業は苦手な私にとっては救世主です! これからも職場や竹羽会の先輩・後輩に助けられながら、自分なりに頑張っていきたいと思います。(岡本)

ひとり言



## お問い合わせ・連絡先

事務局：赤井 友美【8期生(竹羽会8期)】

〒632-0001 奈良県天理市中之庄町 470

奈良東病院 リハビリテーション科

TEL : (0743) 65-1771

FAX : (0743) 65-4157

E-mail : tomoa\_a3335@yahoo.co.jp

所属の変更等がございましたら、こちらまでお知らせ下さい。